

コロナ対策 戦々恐々

太田隆次

先日、スパコン富岳によるコロナ感染 飛沫飛散の実験結果が発表され話題になりました。その後の実験の第2弾を見かけましたのでご報告します。
今もテレビ朝日で、この問題の特集をしています。

受け入れ・治療可能病床数は、感染症専門病院、大型・中型病院、など満杯に近づきつつあることを東京都、大阪府の例を数字で説明していました。待機・要観察者は幸い受け入れるホテルにまだ余裕があるようですが。大規模でない地域の小規模病院では、コロナの第2波と第3波の影響が深刻化していること、つまり、匿名が原則とはいえコロナ発生地域名と医療施設名が知れると風評被害を受けます。

私の住む町は20万人足らずですが、一人でも伝染患者を出すと地域病院は致命的打撃を受けます。東京都をはじめどの市町村でも患者の住所はマル秘にしています。

所が小さい市町村ではそうはいきません。

私たちの病院は50病床と40人の医療職員を抱えている典型的な小規模の施設です。厚生労働省の病床提供は固く辞退しています。

一人でも陽性患者を出すと終わりと、すべての階〈4階〉で換気扇を止め、大型の排気専用機を要所要所に配置し、すべての外来患者にマスク着用をお願いし、体温測定などの事前の対策を取っています。

私の住んでいるマンションは隣接しているので万一私が感染したら病院経営が大変なことになるので事実上、外出は出来ません。早い話が、散髪は今日、3カ月ぶりに空いている時間に行ってきました。

↓をクリックすると理化学研究所のスパコンによる発表の図が出て来ます。

[カラオケは換気口の下で スパコン富岳、コロナ研究 | 共同通信 \(kiji.is\)は](https://this.kiji.is/704630880427148385)

<https://this.kiji.is/704630880427148385>